

平成22年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成22年10月27日

上場取引所 大

上場会社名 東邦レマック株式会社
 コード番号 7422 URL <http://www.toho-lamac.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 笠井 庄治

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長兼総務部長 (氏名) 沼田 茂義

TEL 03-3832-0131

四半期報告書提出予定日 平成22年11月1日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年12月期第3四半期の業績(平成21年12月21日～平成22年9月20日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年12月期第3四半期	11,383	△4.1	143	137.8	154	34.2	174	466.7
21年12月期第3四半期	11,867	—	60	—	115	—	30	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年12月期第3四半期	34.13	—
21年12月期第3四半期	6.02	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年12月期第3四半期	11,835	4,889	41.3	958.24
21年12月期	12,221	4,812	39.4	943.14

(参考) 自己資本 22年12月期第3四半期 4,889百万円 21年12月期 4,812百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年12月期	—	6.00	—	6.00	12.00
22年12月期	—	6.00	—	—	—
22年12月期 (予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成22年12月期の業績予想(平成21年12月21日～平成22年12月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,200	△1.4	243	△34.5	300	△30.2	135	△35.2	26.45

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.4「その他」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

（注）「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 22年12月期3Q 5,120,700株 21年12月期 5,120,700株

② 期末自己株式数 22年12月期3Q 17,639株 21年12月期 17,639株

③ 期中平均株式数（四半期累計） 22年12月期3Q 5,103,061株 21年12月期3Q 5,103,976株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
【第3四半期累計期間】	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、アジア向けを中心とした輸出の増加や、中国・インド等の好調な新興国の需要に牽引され、国内需要も一部回復の兆しが見られました。しかしながら、欧州の財政不安に端を発した為替、株式市場の混乱は続いており、国内景気は依然として先行き不透明な状況が続き、厳しい状況で推移いたしました。

このような状況の中で、当社は前年同期に比べ売上を確保することができませんでしたが、売上原価の圧縮により売上総利益が向上し、営業利益についても大幅に伸ばすことができました。

経常利益につきましては、デリバティブ評価益の減少及び為替差損の増加等がありましたが、前年同期と比べ増加しました。

四半期純利益は新宿屋事業部の縮小及び土地・建物を売却する意思決定を行ったことと、遊休資産の建物を解体する意思決定を行ったことに伴う減損損失がありましたが、繰延税金資産の回収可能性の増加により、評価性引当金を取崩したことに伴い、法人税等調整額(貸方)が増加したことにより前年同期と比べ大幅に増加となりました。

その結果、当第3四半期累計期間の売上高は113億83百万円(前年同期比4.1%減)、売上総利益は27億38百万円(前年同期比6.3%増)、営業利益は1億43百万円(前年同期比137.8%増)、経常利益は1億54百万円(前年同期比34.2%増)となり、四半期純利益は1億74百万円(前年同期比466.7%増)となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、前事業年度末に比べ3億22百万円減少し、83億84百万円となりました。これは、主に現金及び預金の減少が4億38百万円、受取手形及び売掛金の減少が4億23百万円あった一方で、商品が4億65百万円増加したこと等によるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べ63百万円減少し、34億51百万円となりました。

この結果、総資産は前事業年度末に比べ3億85百万円減少し、118億35百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前事業年度末に比べ2億64百万円減少し、64億22百万円となりました。これは、主に支払手形及び買掛金の増加が3億25百万円あった一方で、短期借入金の減少が6億円あったこと等によるものであります。

固定負債は、前事業年度末に比べ1億97百万円減少し、5億23百万円となりました。

この結果、負債合計は前事業年度末に比べ4億62百万円減少し、69億46百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前事業年度末に比べ77百万円増加し、48億89百万円となりました。これは、主に利益剰余金が1億12百万円増加した一方で、その他有価証券評価差額金が35百万円減少したこと等によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前事業年度末に比べ4億47百万円減少し、11億99百万円となりました。

当第3四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期累計期間における営業活動による資金の増加は、3億75百万円（前年同期は1億23百万円の減少）となりました。これは、主に売上債権の減少が4億32百万円、仕入債務の増加が3億31百万円あった一方で、たな卸資産の増加が4億65百万円あったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期累計期間における投資活動による資金の減少は、55百万円（前年同期は40百万円の増加）となりました。これは、主に定期預金の払戻による収入が70百万円あった一方で、定期預金の預入による支出が79百万円、無形固定資産の取得による支出が36百万円あったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期累計期間における財務活動による資金の減少は、7億32百万円（前年同期は2億88百万円の増加）となりました。これは、主に短期借入金の減少が6億円、長期借入金の返済による支出が71百万円及び配当金の支払額が60百万円あったことによるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成22年12月期通期の業績予想につきましては、景気の先行き不透明感による個人消費の伸び悩みなど、今後の見通しに不確実な要素が多いことから、平成22年7月30日に公表いたしました業績予想を据え置いております。今後の業績推移に応じて、修正の必要が生じた場合には速やかに公表いたします。

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期会計期間末の貸倒実績率が前事業年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前事業年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成22年9月20日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年12月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,288,550	1,727,113
受取手形及び売掛金	4,951,623	5,375,209
商品	1,983,906	1,518,705
その他	180,596	107,906
貸倒引当金	△20,565	△22,240
流動資産合計	8,384,113	8,706,694
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	552,994	576,564
土地	1,685,645	1,753,953
その他(純額)	60,267	63,627
有形固定資産合計	2,298,907	2,394,144
無形固定資産		
	73,955	49,119
投資その他の資産		
投資有価証券	533,379	571,676
投資不動産(純額)	160,649	269,577
その他	409,210	253,164
貸倒引当金	△24,217	△22,693
投資その他の資産合計	1,079,023	1,071,725
固定資産合計	3,451,886	3,514,989
資産合計	11,835,999	12,221,683
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,133,531	3,808,001
短期借入金	1,300,000	1,900,000
1年内返済予定の長期借入金	95,160	95,160
未払法人税等	12,488	156,555
賞与引当金	123,740	50,533
その他	757,154	676,561
流動負債合計	6,422,074	6,686,812
固定負債		
長期借入金	159,870	231,240
退職給付引当金	276,035	301,275
役員退職慰労引当金	68,983	62,164
その他	19,101	127,294
固定負債合計	523,990	721,973
負債合計	6,946,064	7,408,786

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成22年9月20日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年12月20日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	961,720	961,720
資本剰余金	838,440	838,440
利益剰余金	3,069,071	2,956,141
自己株式	△9,502	△9,502
株主資本合計	4,859,729	4,746,798
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	29,717	64,871
繰延ヘッジ損益	488	1,226
評価・換算差額等合計	30,205	66,098
純資産合計	4,889,935	4,812,897
負債純資産合計	11,835,999	12,221,683

(2) 四半期損益計算書

【第3四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成20年12月21日 至平成21年9月20日)	当第3四半期累計期間 (自平成21年12月21日 至平成22年9月20日)
売上高	11,867,331	11,383,997
売上原価	9,290,594	8,645,624
売上総利益	2,576,737	2,738,373
販売費及び一般管理費	2,516,486	2,595,097
営業利益	60,250	143,275
営業外収益		
受取利息	2,337	1,906
受取配当金	5,727	14,121
仕入割引	17,624	6,455
受取賃貸料	24,714	23,122
デリバティブ評価益	47,812	15,450
その他	9,112	7,459
営業外収益合計	107,328	68,515
営業外費用		
支払利息	13,786	10,149
手形売却損	2,665	1,928
貸与資産減価償却費	6,340	5,423
為替差損	27,170	35,627
その他	2,482	4,180
営業外費用合計	52,444	57,308
経常利益	115,135	154,482
特別利益		
固定資産売却益	11	23,224
投資有価証券売却益	—	620
貸倒引当金戻入額	9,570	—
特別利益合計	9,581	23,844
特別損失		
固定資産除却損	655	326
投資有価証券評価損	1,354	84
減損損失	42,999	174,287
特別損失合計	45,009	174,698
税引前四半期純利益	79,706	3,627
法人税、住民税及び事業税	73,214	91,561
法人税等調整額	△24,240	△262,101
法人税等合計	48,973	△170,539
四半期純利益	30,733	174,166

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成20年12月21日 至平成21年9月20日)	当第3四半期累計期間 (自平成21年12月21日 至平成22年9月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	79,706	3,627
減価償却費	57,103	56,117
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△9,570	△151
受取利息及び受取配当金	△8,065	△16,027
仕入割引	△17,624	△6,455
支払利息	13,786	10,149
固定資産売却損益 (△は益)	△11	△23,224
固定資産除却損	655	326
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△620
投資有価証券評価損益 (△は益)	1,354	84
減損損失	42,999	174,287
賞与引当金の増減額 (△は減少)	53,754	73,207
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	10,213	△25,240
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△1,503	6,819
売上債権の増減額 (△は増加)	1,237,494	432,146
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△538,496	△465,201
仕入債務の増減額 (△は減少)	△862,916	331,984
その他	△76,811	50,600
小計	△17,929	602,429
利息及び配当金の受取額	8,039	14,545
利息の支払額	△13,454	△9,966
法人税等の支払額	△100,006	△231,751
営業活動によるキャッシュ・フロー	△123,351	375,257
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△69,000	△79,000
定期預金の払戻による収入	159,000	70,000
有形固定資産の取得による支出	△23,440	△8,334
有形固定資産の売却による収入	—	41,784
無形固定資産の取得による支出	△22,341	△36,679
差入保証金の差入による支出	—	△27,168
その他	△4,073	△15,636
投資活動によるキャッシュ・フロー	40,144	△55,034
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	△600,000
長期借入れによる収入	400,000	—
長期借入金の返済による支出	△49,810	△71,370
配当金の支払額	△60,840	△60,788
その他	△887	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	288,462	△732,158
現金及び現金同等物に係る換算差額	△23,404	△35,627
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	181,851	△447,562
現金及び現金同等物の期首残高	1,214,777	1,647,113
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,396,628	1,199,550

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。